外国で生産する日本の工場

日本の会社が外国に工場をつくるのはなぜだろう。それで何が変わるのだろう

日本



日本の会社の工場

（国内）



自動車などをつくる

外国で生産するわけ

1. 買う人の近くでつくる（その国や近くの国で売る）
2. 遠くまで運ぶ費用や時間を減らす
3. つくる費用をおさえられることがある

4. 相手の国も、働く場がふえることを願う

（日本の会社から見たわけは1〜3、相手の国から見た願いは4）

外国（国名は出さない）



同じ会社の外国の工場

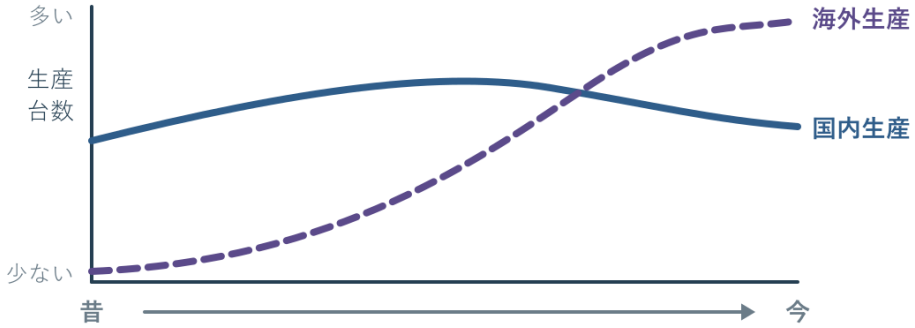


その国の人が働く



その国や近くの国で売る

国内生産と海外生産の変化（自動車の例・模式）



線の形は傾向を示す模式で、実測値ではない

日本の国内では（両方の面がある）

日本の工場の役割

新しい技術の開発や試作をする
高い技術がいる部品をつくり、外国の工場へ送る

働く場の変化

国内の工場の仕事が減る地域もある
新しい製品や技術の仕事がふえることもある

※ 模式図。会社・国・グラフは例と模式で、実際の数値ではない。わけや影響は会社や製品によってちがう。